

# 課題・教材開発の視点

今日の成果、そして、これから続けていきたいこと

NOBURO HAGIWARA JUN 23, 2018 07:38PM

## 活動と休憩のバランス

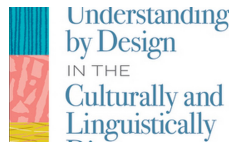
今日の講座の様々な活動時間と休憩のバランスはどうでしたか。最近読んだ本の中に興味深い数値があったので試してみました。52分活動して17分休むというのが最善のバランスなのだそうです。DeskTime, a company that makes productivity-tracking software, says that "what the most productive 10% of our users have in common is their ability to take effective breaks. "Specifically, after analysing its own data, DeskWork claims to have discovered a golden ratio of work and rest. High performers, its research concludes, work for fifty-two minutes and then break for seventeen minutes. (Dan Pink 2018, When)

## Understanding by Design

### Understanding by Design®

Thousands of educators across the country use the Understanding by Design (UbD ®) framework, created by the late Grant Wiggins and Jay McTighe, to get a handle on standards, align programs to assessments, and guide teachers in implementing a standards-based curriculum that leads to student understanding and achievement.

ASCD



## 環境を整えていきたい

なんてエッセンシャルでない私。

2学期の課題ではマルチプル・インテリジェンスを意識した選択肢を増やして生徒のスイッチを入れる問いかけを発信していきたい。

とても刺激的な1日でした。

先生方がどれだけの創造力と時間と労力がともなうお仕事を日々されているのかを少し垣間見ただけでも脱帽です。伝えたい事、伝え方、見せ方、引き出し方、活かし方、育て方、考える方向性や要素も多義に渡るため、頭の中の整理が

## Multiple Intelligence & Essential Question

---

人にはそれぞれ異なった能力や知性があること。

このことを認めると・・・

すべての生徒を同じように教育するやり方は最も不公平な教育である。

---

いま「みんな違って、みんな良い」に本気です。それが反社会的であれば問題ですが、それ以外の事に関しては寛容になり、生徒と接しています。

まずは安心・安全の場を生徒に提供するところから始めています。その環境を整えてから・・・Essential Questionを場に投げかけることを考えています。

===

Essential Questionについてはこの動画が思い浮かびます。

<https://youtu.be/W1K2jdjLhbo>

## 本質とテクノロジー

授業づくり、教材についての本質的な部分を考える機会だけでなく、実際に使えるツールを知ることができて本当に嬉しいです。

楽しく授業準備したいと思います！

## 「同じ」が不平等

誰の「学び」の時間なのかを常に考えなければならない。

その生徒が「何ができるようになるのか」、今ある環境の中で工夫をしながらも、やはり、「環境」が限界を迎えていることにも向き合い続けたい。

自分の思考の整理もでき、学び多き時間となりました！

## 企業経営と教育について

経営者の責任として、従業員教育のみならず、企業体そのものの教育、また、経営者自身の教育があると思い、自分にとって、何かの学びがあると思いこの会に参加しました。参加した率直な感想は、皆さまに度肝を抜かれました。

経営には、クリエイティブが必要で、自分はそれを磨いているつもりでしたが、先生方のクリエイティビティは、本当に凄く

て、全然足元に及びません。  
色々な経営者がこの会に参加して、自分会社に持ち帰り、企業経営に教育を入れて行けば、日本経済がもっと良くなると思いました。

## 質問の質

教師がどんな言葉を投げかけるかで、生徒の学びが全く

## エッセンシャル・クエスチョン

素敵な言葉です。なんて多くの「エッセンシャルでない」問いが多いことか。

## abt Backword Design

逆算して授業をデザインをしていく、というキーワードを聞いて、未来逆算思考 (Backword Thinking) という言葉を、以前知って感動したのを思い出しました。  
今の学習者が、社会で活躍する社会がどのような社会科、を思い描きながら、教育に携わっていくことが現在働いている私たち教員には強く求められていますし、それを研究実践していくことが必要だとあらためて思いました。

## 授業デザインとは

数年前から授業デザインにとっても興味があって、いろんな人のアドバイスをもらいながら授業を作ってきました。  
でも、今日のELPで、そもそも教材をデザインするために不可欠な要素を学び、いまの自分の教材や自分の授業者としての視点で足りない点を明確に発見できたことが収穫でした。  
以前は自分の不勉強さに恥ずかしくなるばかりのELPでしたが、今回は、2学期からの授業 (7月は授業ないので) を変えていこうという前向きな気持ちでいっぱいです。今日の「お土産」を職員室の机か教室に貼って、この学びを常に心に留めておきたいです。

## 考え抜くということ

授業の構成要素について考えたことが良い経験でした。自分の中では、やりこむ要素があること、手段が一つでないということがぱっと思い浮かびました。

学習の最後に生徒にどのような姿になって欲しいのかという部分について、改めて考え直す良い機会になりました。  
周りの先生の授業の構成要素について知ることができてよかったです。

## 今日の感想

先生方の実践を拝見したり、様々なICTツールを知ったりして、授業作りのアイデアが浮かんできてワクワクしました。  
特に、最後に萩原先生に教えていただいたbackward designは、今まで見落としていた視点だったので、これから実践していきたいです。

他の先生方の授業を実際に拝見してみたいと思いました。

## 課題と教材

構成要素を考えていた時に、今まで私が作成してきた課題があまりにも無計画で重要視すべき構成要素を飛ばして設定していたことに気がつきました。

しかもそんな教材や課題であるのにそれを信じて一生懸命取り組み続ける学習者たち。。。

指導者側の失敗を学習者になすりつけている現実。

(教材や課題の作成、設定だけではないですが) もっと責任持たないと。

---

MIの視点ではないですが、学習教材が複数用意して生徒たちが選択できるようにしています。

しかし、学習者自身が自分の強みをcognitveできるような何かがあるのかな。それとも指導者が見取る必要が？

\*\*\*\*\*